

目国内岳（1 2 2 0 m）・白樺山（9 5 3 m）

2 0 2 4 年（令和6年）5月5日（日）

GL：SW田、SL：S井、SL：M江、総員11名

- 6：35 伊達道の駅車2台出発、空模様は薄曇りがニセコ方面に近づくにつれて青空が広がってくる。
- 8：20 ニセコパノラマライン新見ゲート着。15台車が有ったがまずはスムーズに駐車出来た。現地集合の二人と合流。ビーコンチェックをしてスキーを背負う。
- 8：30 青空の中歩き出し。ブーツをリュックに付け運動靴の人もいる。緩い登り坂の歩きである。自転車二台が通り過ぎていく。
- 9：15 雪面取り付け部に着。
- 9：30 シールハイク開始。雪は柔らかい木立の中のやや傾斜の強い登りで、笹もあちこちたくさん飛び出しており、右に左に進路を変えながら登っていく。たちまち汗が噴き出してきて、休憩を挟む。
- 10：00 広い尾根状台地に出る。笹が多数露出している前目国内岳を横目に見ながらトラバースし、コルを目指す。コルの手前から見る目国内岳は笹が広大に飛び出して露出が激しい。広くある雪面も多分小石小枝笹のブッシュが多くあるだろうし、滑るには危険要素がたくさんある。ここでUターンすることになり、前目国内岳を目指す。登りトラバースの途中、スノーシュー中年二人と会い情報交換。頂上近くで夏道を確認し、スキーを外し、約5分間登る。
- 11：00 前目国内岳山頂着。記念写真パチリ、シールを外す。
- 11：35 滑走開始。滑る雪でオープンバーンでの中回り5ターンから樹木帯の滑りになるデコボコが激しい。雪面で、時折2ターンくらいできるところもあったな。気分だけはツリーラン滑走ですな。
- 11：55 道路着。ここで昼食。
- 12：30 対面の白樺山斜面のハイク開始。
- 12：55 左右上下に幅広い笹露出面が出現し、ここでシールを外す。
- 13：05 滑走に、右に右にと小さいツリーホールを注意しながら短いトラバースを繰り返し滑りながら道路に出た。
- 13：15 頑張る人はさらに道路両端の少ない雪を求めながら下がっていく。スキーブーツ歩きはすごく疲れるな。しかし下り坂なので良かったな。
- 13：55 やつとの思いでゲート到着、ここで解散式となる。
- 14：15 帰路に。

今シーズンはニセコも記録的な積雪量の少なさ、暖かさで雪解けがかなりの速さで進み、どういうものかと気がもめたが、それなりの滑走を楽しめて良かったです。

リーダー、サブリーダー、各担当の方そして皆さんお疲れ様です。ご苦労様でした。

記録 NS



歩き出し



取り付け部から滑走準備



コル手前から見る山頂



前目国内岳



昼食



白樺山斜面に



道路に出ました



道路下り